

○はじめに―「改善会議」の一年

一昨年9月の区民アンケートで様々な意見が出された。それを受け、昨年度区長（高井儀浩）が区総会に諮って賛同を得、区の運営改善のために設立。下記のように8回の会議を開催。

委員：高井儀浩（議長）、小野孝治（副議長）、門坂恵美子、杉原博司、竹田恵里、田引拓也、深井茂男、増田美佐代、藪上 健

会議：①5/21 ②6/18 ③7/15 ④8/19 ⑤10/22 ⑥11/18 ⑦1/21 ⑧2/17

〈報告事項〉 一下線部は、アンケートと区役員会の意見を受け改善会議で議論して変更したもの。

(1) 本年1～2月実施区民アンケート集計結果 → p3-7

(2) 班編成の変更 → p8-10

(3) 納税方法については次のように変更する

「字費用は4月に一括して一年分を納入するか、3カ月に一度（4月、7月、10月、1月）納入する。但し、月ごとの納入を希望される場合は遠慮なく区長に相談していただきたい。募金は公民館経費等と同様、適当な額を区会計から一括して拠出する。」

(4) 納涼祭については次のようにする

「場所は「天満宮広場と駐車場」とする。期日については「7月24日に近い土曜日か日曜日を基本とし、その年のカレンダーにより、7月の適切な土曜日か日曜日」とする。」

(5) 披露帳の扱いと冠婚葬祭規定を次のように変更する

「当家は、忌明け等、必要な情報を区長に届ける。区長は現在の披露帳にその情報を従来通り記入し管理する。自治会内へは区長が班回覧のかたちで知らせる。自治会入会の場合は、当家に自己紹介文をお願いして区長に提出いただき、班回覧する。家族の年齢等の詳細情報は自治会運営上必要であるので、区長には届けていただく。

なお、区へ拠出する自治会入会費・慶弔関係費を次のように変更する。変更の理由は、以前は冠婚葬祭のたびに自治会の人々に多大の協力をしてもらっていたが、現在ではそのようなことが非常に少なくなっているため、総体的にどの費用も減額や撤廃すべきであると考えられるためである。ただし、これらのことについて、上に記したような形で披露はする。

	従来		新規
自治会入会費	5,000円	→	5,000円
忌明け	20,000円	→	<u>0円</u>
年忌	5,000円	→	0円
出産	5,000円	→	0円
新築	20,000円	→	0円
結婚	10,000円	→	0円

一方、各戸から当家への葬儀にまつわるお供えは従来通り次のようにする。

伽見舞（とぎみまい＝通夜の見舞金） 2,000円

但し、これは全戸に割り当てるものではなく、生前の付き合いの濃い場合に供えるものである。また、班内の葬儀の場合は、班から「組中」として檜一對と菓子盛を供えるので班の各戸から当家への伽見舞はしない。ただし、班の判断によっては供え物をしなくてもよい。

香典

3, 0 0 0 円

伽見舞・香典とも当家から各戸への返しはなし。山菓子を渡すのみ。

また、還暦、古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿、金婚などの節目に、会議所の備品を寄付したり、天満宮例大祭、初天神、終天神に、饅頭や菓子などを献じた場合も披露はするが、これらの寄付や奉獻は個人の判断であり、同年代に属する人口が減少している現在、一人当たりの負担が重くなっていることもあり、自治会の慣行とはしない。

一方、少子化が進む状況を考慮して、区から当家への祝金を次のように新設する。

結婚し区内に居住する場合	1 0, 0 0 0 円
結婚し区外に居住する場合	5, 0 0 0 円
区内で出産した場合	5, 0 0 0 円

(6) 弁天祭と野神祭を早苗登祭に統合する。但し、弁天社付近と野神の荒廃を防ぐため、8月の墓掃除終了後、旧の住民中心に除草を行う。

(7) 現在、農組員によって担われている「まるごと事業」については、どのような運営を行うべきか、改善会議で検討する。 → p 11

〈提案事項〉

(1) 神明講の廃止と愛宕札配付の方式の検討について

(1)-1 「神明講、伊勢代参は廃止する。お札は正月に綿向神社に願います。愛宕さんのお札は、これまで通り郵送とする。お伊勢さんと愛宕さんのお札の担当は氏子総代副に願います。

付：これまでの野神講と神明講の残金は「伊勢愛宕講会計」という名称にし、お札申込みの事務も含め、氏子総代副に管理をお願いする。」

(1)-2 お札の配付については次の1案と2案を提示し裁決を採る

1案：お伊勢さんと愛宕さんのお札を、区全戸から希望を取って、希望の数だけ申し込む

2案：愛宕さんのお札は全戸に購入いただく（小200円、大500円のいずれか）。お伊勢さんのお札は区全戸から希望を取って希望の数だけ申し込む。

(2) 農組員にかかる過重な負担を軽減するため、農組員は当面（今後5年間）、区三役を免除する。

○終わりに一次年度の改善会議の方向性について

- ・「河原区運営マニュアル」の作成
- ・天満宮施設の検討
- ・「まるごと事業」についての検討
- ・各種組織のありかたについての検討 等